

井口特設グラウンド土地利用に関する説明会の開催概要

◆日時 令和4年10月8日(土) ①14時(一般向け) ②16時(スポーツ団体向け)

◆会場 井口コミュニティ・センター 体育館

◆来場者数 53人(①41人、②12人)

◆主な意見・質問等(要旨) (⇒・・・市の説明)

《一般向け》

- ・現在、グラウンドとして有効利用されているため、グラウンド・一時避難場所の充実を考えて欲しい。近くに病院はあるためこの場所に医療施設は必要ないと思う。
⇒公共施設をはじめ医療施設についても建替えの時期にきていると認識している。また、グラウンドも暫定ではなく恒久的な施設としていきたい。病院を誘致し、その地代収入をグラウンド整備や維持管理等に賄う活用方法など検討していきたい。
- ・東西通路について、基本的には車は通らない想定か。
⇒一般車両を通すことは現在考えていない。歩行者及び自転車の通行を考えている。
- ・医療施設はどのようなものを想定しているか。
⇒医療施設の具体的な内容についてはこれから検討していく。
- ・グラウンドの整備について、多用途を目指すのか。種目を絞っていくのか。
⇒これからの検討事項である。スポーツ関係者の意見を聞きながら集約していきたい。
- ・3つの方向性はいいと思う。
- ・今後の具体的な検討段階でも示してもらい、我々の要望も聞いて欲しい。
- ・立派なものをつくるのではなく、メンテナンスのことも考えて検討して欲しい。
- ・バス乗り継ぎポイントとはどのようなものか。具体的にどことどの路線を結ぶのか。
⇒乗り換えができるバスベイのような乗り継ぎポイントをつくっていきたい。具体的な路線については現在検討中である。
- ・現状のグラウンドの利用実績はどうなっているのか。
⇒現在の利用率は約70%で、土日はほぼ100%となっている。平日の午前中はグラウンドゴルフ、午後はサッカーや野球で使われている状況である。
- ・グラウンドを概ね半分にすることによる影響と将来の見通しはどうなっているのか。
⇒利用枠も概ね半分になると考えている。市のスポーツ施設としては、大沢野川グラウンドが復旧予定であるため、そこも含め市域全体で使用について検討していきたい。
- ・医療施設とは別に三鷹に保健所が欲しい。
⇒この場所ではなく今後の検討としていきたい。感染症の対応など、これからは防災対策としての医療や保健所の機能も含め大切になってくる。
- ・無料で使える貴重なグラウンドであるため残すべきだと思う。グラウンドと医療施設が隣同士で両立するのか疑問である。
⇒グラウンドは無くさないが、公有地はグラウンド利用だけではなく、その用途はバランスを考えて検討していく必要がある。医療機能は、高齢社会の中で地域に重要な施設と考えている。
- ・売却からグラウンドが残るということで大筋賛成である。
- ・東西通路やバス乗り継ぎポイントなど近隣にも配慮していただいている点はよい。
- ・現状は必ずしも地域のグラウンドではないと感じており、今後の整備の中では地域のためになるような視

点での整備をお願いしたい。

- ・ 定期的にお話を聞かせていただきたい。次の説明会の実施時期はいつになるか。
⇒今回は土地利用の方向性をお示しした。今後、グラウンド整備の検討やどういった医療施設を誘致するかについては、具体性が見えてきた段階で説明する場を設けたい。
- ・ 医療施設の感染症対応については、どのレベルの感染症を想定しているのか。
⇒病院の誘致にあたっては、感染症対応が一定程度可能なレベルの病院を検討していきたい。

《スポーツ団体向け》

- ・ グラウンドが約半分になる中で使えるスポーツの制限があるのか。
⇒幅広くご意見を聞きながら、細部をつめていきたい。
- ・ 医療機関は、総合病院のようなものかクリニックモールのなものか。
⇒期待する役割として、地域医療はもとより災害時の体制や感染症にも柔軟に対応でき、災害時の拠点となるような施設を想定しており、クリニックモールのものではない。
- ・ 井口グラウンドが半分になることに伴い、学校開放についての検討はされるのか。
⇒教育委員会では学校3部制という考え方を公表している。すでに放課後のクラブ活動等で学校開放しているところはある。現状を整理したうえで、今後の展開について検討を進めていきたい。
- ・ 学校3部制の2部において、クラブチームが使えるようにならないか。
⇒地域の特性がそれぞれの学校や学園であると考えている。利用枠の確保などについてはこれから検討していきたい。